

解答

- 1 あいうえお・やいゆえよ・わのうゑを
る・ゑ
- 2
- 3 ①たま(も)う ②こうい ③よ(え)う ④いる ⑤おり
⑥ゆうじょ ⑦みょうやく ⑧きょうくん ⑨ちず
⑩かえる
- 4 ①(終止形は)ウ段。ラ行変格活用は「り」
②(終止形は)「し」
③(終止形は)「なり」と「たり」
④已然形
- 5 ①ラ行変格活用
②下一段活用
③ナ行変格活用(ここまでは順不同)
④五段活用
⑤上二段活用
⑥下二段活用
⑦カ行変格活用
⑧サ行変格活用

解説

- 4 ④「已然形」の文字に注意。「已」「己」にならないように。
- 特に助動詞や助詞が接続する場合は、どの語の場合は何形になるかを覚えてしまう必要がある。活用の種類は暗記してしまえば問題ない。
- ①の「けむ」、②③の「けり」は連用形に接続する。③の下の「かぐや姫」、⑤の下の「音」は体言であるから、上は連体形。④の下の「たまへ」は用言なので、上は連用形。⑥の下の「ば」の上は未然形か已然形に接続するが、サ変の活用を覚えていれば問題ない。⑦の下の「られ」は未然形に接続する。
 - ③の接続関係と同じように考える。①「たり」は連用形接続。②「けれ」は、③の「けり」と同じで連用形接続。④「をり」は「時」の意なので、上は連体形。⑤「て」は接続助詞で、連用形接続。⑥は「まらうど」(客)が体言。⑦「させ」は使役の助動詞で未然形接続。⑧サ変の複合動詞である。

口語訳

- 2 ①よその人は色々決めますが……
②あの唐船が来た。
- ③容姿を改善し、年齢を若くせよと言っているのではない。
④この尻を蹴れといわれる相撲。
⑤道路で死ぬであろうこと、これは天命である。
- 3 (a)「夜が更けた。」と言ったのであろうか、そのまま行ってしまった。
(b)ここにいらっしゃるかぐや姫は、重い病気にかかっているらしいから、外にお出になれないでしょう。
(c)車をやって待っていると、来る音があるので……
(d)あの典葉の助は蹴られたのが原因で病気になる死んだ。
- 4 (a)「娘の思いを」親が聞きつけて、(男に)そのことを泣く泣く知らせたところ、(男は)あわててやって来たが、(娘が)死んだので、なすこともなく喪に服していた。

解答

- 1 ①く ②す ③あり

⑤	④	③	②	①					
死ぬ	蹴る	す	来	はべり	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形
死	(蹴)	(す)	(来)	はべ					
な	け	せ	こ	ら					
に	け	し	き	り					
ぬ	ける	す	く	り					
ぬる	ける	する	くる	る					
ぬれ	けれ	すれ	くれ	れ					
ね	けよ	せよ	(こよ)	れ					
ナ行変格活用	カ行下一段活用	サ行変格活用	カ行変格活用	ラ行変格活用					

- 3 ①ラ行変格活用・連用形 ②ナ行変格活用・連用形
③サ行変格活用・連体形 ④サ行変格活用・連用形
⑤カ行変格活用・連体形 ⑥サ行変格活用・已然形
⑦カ行下一段活用・未然形 ⑧ナ行変格活用・連用形
①き・連用形 ②死に・連用形 ③をり・連用形
④ある・連体形 ⑤き・連用形 ⑥する・連体形
⑦蹴(け)・未然形 ⑧御覧する・連体形

解説

- 1 ③ラ行変格活用の終止形は他の動詞と違ってウ段にはならないので注意する。
- 2 語幹は漢字で書いてもひらがなで書いてもかまわない。ただし、②③④のように語幹と活用語尾との区別がない場合は、()でくくるのが普通である。カ行変格活用の命令形は二つあるので注意。
- 3 未然形と連用形、終止形と連体形が同じ形になるものが多い。こうした場合に下に来る語(接続)によって判断することが多い。

- (b)憎らしいもの、(それは)急ぎの用がある時に来て長話をする客。
(c)天皇の御前で殿上人に鞠を蹴らせて御覧になられる日の有り様……